近江就労支援・レディネスパス(On the jobに向けて)

OKOSパス（標準OTパス）

ADL、自宅生活に合わせたプログラム中心に介入

就労メンバーに就労ケースが来たことを伝達

後期集中期～目標適応期 → **ステップアップ期** → **伝達期** / **外来・訪問**

復職に向けた評価・プログラム開始 → クライエントの全体像の把握 / 職場との連携開始 → 業務内容に合わせたアプローチ開始 → クライエントの全体像の把握 / 職場への伝達準備 → 復職に向けた最終調整

ENT後のADL・自宅生活におおよそ目処がついた頃

経過報告を受ける（外来・訪問→回リハ）

情報収集
COPM
ADOC

遂行機能評価
AMPS

詳細能力評価 ＊別紙参照
≪必須≫
一般職業適性検査
レディネス

身体機能
高次脳機能
精神・人格
意思
作業遂行
就労準備
社会参加
生活

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開始

作業遂行能力の把握
初回ｻﾏﾘｰ作成
（一般職業適性検査・レディネス評価も記載）

復職に向けての面談
【参加】
市役所福祉課
働き暮らし応援センター　等
職場関係者
【内容】
現状の能力の申し送り
必要な能力の聞き取り

※一般or障害者枠の就労の場合ｱﾌﾟﾛｰﾁ開始
※身障・精神の手帳申請の確認
※受け入れ状況の確認

再評価（遂行機能・詳細能力）
職場への外出

職場への外出にて・・・
作業内容だけでなく、職場内での導線やトイレや食堂の位置、通勤経路も確認

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正
・より細かい作業工程の確認
・模擬的な練習

作業遂行能力の把握
中間/最終ｻﾏﾘｰ作成

復職に向けての面談
【内容】
現状の能力の申し送り
必要な能力聞き取り

※職場見学
※外出、外泊訓練

ENT後の支援
・外来
・訪問

復職

半年・1年後クライエントにアンケートを実施

MSW　情報収集
・家族情報（支援力、経済面）
・家族の就労に対する思い
・福祉制度、地域の支援体制
・職場の状況
・就労の必要性、緊急性
・失業保険（期間）、障害年金など（市役所へ確認・依頼）

MSW　連絡・会議の設定
職場への外出が可能か確認
（細かい作業工程のプログラムに入る前）
※受け入れ状況の確認

MSW　連絡・会議の設定
家族、職場、公共機関（福祉課・支援センター等）、その他サービス等へのアプローチ